

長瀬小学校

1. 研究テーマ

「豊かな感性を持ち、自ら学び考える子をめざして」
～一人ひとりが、考え高め合う子を育てるために～

2. 研究内容

本校は、本年度1年（単学級）、3・4年（複式学級）、5・6年（複式学級）、「障害」児学級の4学級編成である。

国語科や算数科などでは、できる限り単学年の時間を生み出す工夫と努力をしているが、教科によっては2～3学年合同で授業を行っている。

児童は、素直で純朴であり、物事にまじめな姿勢で臨むことができる。保育所からほぼ固定化されているなかまは、互いによく知っていて行事などにおいても、全校が協力し合って取り組むことができる。しかし、その反面山間部という環境にあるため、入ってくる情報量が少なく、多様な意見や考えに触れる機会も限られている。従って、練りあい磨きあうという活動を持ちにくく、自ら考え行動するという点においては消極的な面がみられる。

そこで本年度は、恵まれた自然環境を生かし、「生活科・総合的な学習の時間」の



実践（米作り体験・ものづくり・長瀬の自然調べ・国際理解等）を通して、一人ひとりの生きる力、自主性・積極性・協調性・創造力を育てようと取り組んできた。なかまと共に協調し、人を思いやる心・感動する心など「豊かな人間性」は、家庭や学校などでの人と人との交わりや、自然や社会の現実に触れる体験を通して培われると考えたからである。

また、小規模特認校制度試行の市の研究指定を受け、特色ある学校を目指し、日常の実践活動を通して創意工夫を重ねてきた。

3. 具体的な実践

生活科・総合的な学習の時間の取り組み（2004年度）

〈1年生〉

【1学期】

- ・ 田植え体験
- ・ 花や野菜の世話と観察
 サンドイッチ作り
- ・ 学校たんけん
 牛乳パックで作って、あそぼう
- ・ 春、夏たんけん

【2学期】

- ・ 稲刈り体験
- ・ サツマイモの収穫
大学芋作り
- ・ 秋たんけん
木の実や木の葉で工作
- ・ 家族紹介
- ・ 仕事にチャレンジ
- ・ 球根植えと観察



【3学期】

- ・ 冬たんけん
- ・ できるようになったよ
- ・ 待っているよ新一年生

一年間を通じて、「わくわくたんけんたい」として四季の変化を楽しむことができた。自然を観察することで、自分たちの住む地域について新しい発見があったり、よさを再認識したりすることができた。

田植えや稲刈りなどは、初めての体験であったので興味をもちながら、生き生き活動ができ、思ったことを絵や文で表現した。

学校探検後には、毎日の給食後の牛乳パックの再利用について意欲的に考え、それぞれのアイデアをいかして、みんなで遊べる物を作ることができた。

2学期に取り組んだ「家族紹介」では、おうちの人のしごとについて知ることができ尊敬の気持ちをもつことができた。またお手伝いにも積極的に取り組み、自分ができることを実践しようという気持ちが育ってきた。

(3・4年生)

【1学期】



- ・ 長瀬のことをインタビューしよう
- ・ 田んぼの水はどこから来ているか調べよう
- ・ 飲み水はどこから来ているか調べよう
(長瀬簡易浄水場の見学)
- ・ 川の水は安全か調べてみよう
- ・ ダムの水をきれいにするための活動に参加しよう (植栽活動)

【2学期】

- ・ 水をきれいにする方法を調べよう
- ・ 砂や炭を使って汚れた水をきれいにしてみよう
金魚の水槽の水・石けん水・墨汁の入った水を使ったら過実験
- ・ リサイクルについて調べてみよう（個人調べ）
- ・ 牛乳パックを使ったはがき作りをしよう

【3学期】

- ・ 今年の取り組みをまとめ、発表しよう（電子紙芝居を使って）
- ・ これから私たちに出来ることは何かを考えよう

社会科の学習とも関連付けながら、インタビューをしたり、実際に自分たちの足で歩いて確かめたり、インターネットで調べたり、体験したりと、いろいろな方法で1年間学習することができた。

自分たちの住んでいる地域の中を流れている川の水を、自分たちが大切にしたいと思っているだけでなく、下流のダムでも水をきれいにしたいと考えて工夫していることも知ることができた。そして、子どもたちが社会の一員として植栽活動に協力できたことは貴重な体験となった。

長瀬簡易浄水場の見学や比奈知ダムの植栽活動では、クラスの子のお父さんから話をしてもらったり、一緒に活動したりすることができた。また、リサイクルのはがき作りでも家族と一緒に活動したことで、子どもたちが学習していることを家の人に知ってもらい、環境について家の人たちにも関心を持ってもらう機会となった。

この学習をきっかけとして、家庭でも自然を守っていくためにできることを親子で考えて、「できることから実践していこう」という気持ちを持ち、学習したことが今後の生活につながっていくことを期待したい。

（5・6年生）

【1学期】

- ・ 外国の楽器について調べる（インド・日本・韓国など）
- ・ 外国の文化について知りたいこと・疑問を出す



【2学期】

- ・ 韓国について各自の調べ学習（食事のマナー・チマチョゴリ・ハングル・給食）
- ・ 在日の方への文化聞き取り学習
- ・ 鶴橋コリアタウンでの体験学習（キムチ作り・町探検）
- ・ さらに調べたいことを深める（グループでの活動）

服装グループ・・・チマチョゴリ、パジチョゴリ

言葉グループ・・・ハングル

食事グループ・・・チャプチェ

遊びグループ・・・チェギチャギ

【3学期】

- ・ グループごとに楽しく伝える方法を考え、わかりやすく調べたことを発表する
服装・・・服装についての説明とおりがみでのチマ・パジチョゴリ作り
言葉・・・簡単なあいさつと自分の名前を書く練習
食事・・・チャプチェ作りについてと食事のマナーについての説明
遊び・・・簡単なチェギチャギの作り方・遊び方の説明
- ・ 発表を終えての感想を交流し合う
- ・ 自分の興味をもっている国について調べる
- ・ 一年間で学んだことをまとめる

外国の人と触れあう機会がほとんどない子どもたちではあるが、数年前からALTの先生が来てもらったのをきっかけとして、外国の文化・言葉について興味を持ち始めた。外国の楽器を調べていくうちに、日本と韓国の楽器で似ているものが見つかり、そこから韓国のことを調べていくことになった。韓国の食事・服装・言葉・遊びのことを調べていくうちに日本と似ていること、違うところを見つめられるようになっていった。外国の文化について様々なことを知るとことは子どもたちにとってとても新鮮なものだったようだ。自分たちが調べたことを全校のみんなにも知ってもらいたいという気持ちも自然にわいてきた。在日の方との出会い、鶴橋コリアタウンへのフィールドワークが子どもたちを意欲的に活動させるにはとても効果的だったと思う。

4. 成果と課題

＜成果＞

- ・ 地域の人やゲストティチャーとの出会いを多く持つことにより、積極的に学ぶ子どもの姿が見られるようになってきた。
- ・ 地域の自然を教材として学習をすることで、地域のよさに目を向けるようになった。
- ・ 「生活科・総合的な学習」に取り組むことによって、他の学習にも自主的な面が見られるようになってきた。
- ・ 学習したことを積極的に交流・発表ができるようになり、学ぶ喜びや、自信につながった。（他学年・家族・地域の人々）
- ・ インターネットなどで調べたことを実際に体験してみて確かめたり、また、



その体験から出てきた疑問をさらに調べたりして学習を広げていくことができた。

- 1年間の学習成果を大勢の見学者の前で物怖じせずに主体的に活動し、発表できた。
- 日頃の子どもたちの活動を、発表会を通して、広く地域に発信できた。

<課題>

- 全ての子どもの発想の豊かさや、自主性を伸ばすための支援のあり方。
- 情報量の限られた地域性等に起因する生活体験の不足の克服。

